



# 「長野市文化財保存活用地域計画」(案)に対する 市民意見等の募集 (パブリックコメント) の実施について



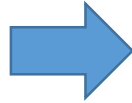
令和5年11月

教育委員会事務局 文化財課

## 1 計画作成の背景

文化財保護法の一部改正

(平成30年)



各市町村で域内の文化財の保存と活用に関する総合的な計画（文化財保存活用地域計画）を作成し、文化庁の認定を受けることができる。



平成31年施行以降、認定を受けた全国の自治体数・・・119市町

(長野県内・・・4市)



松本市・上田市・千曲市・塩尻市

長野市

・・・

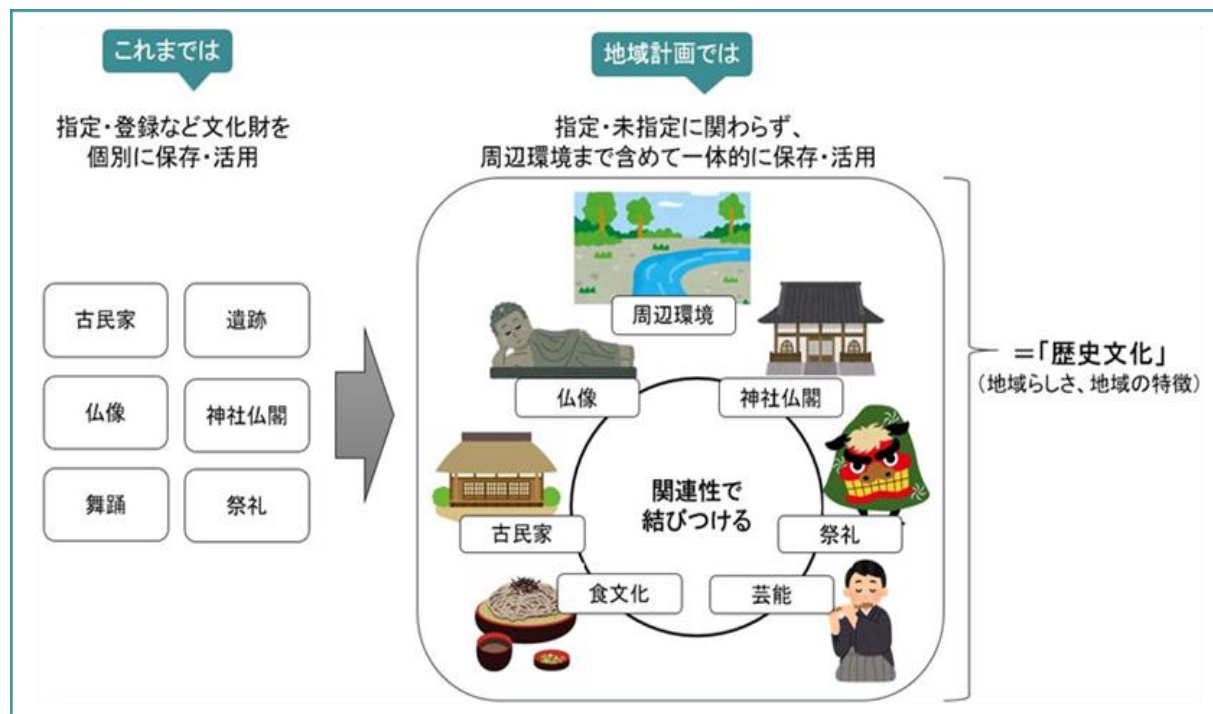
令和3年度から地域計画の作成を始め、令和6年7月に文化庁の認定を予定

## 2 計画作成のメリット

- ・ 文化財保護についての中長期的な方針や具体的な事業の可視化
- ・ 住民、関係団体、庁内各課などとの連携強化
- ・ 地域計画作成市町村を対象とする補助事業など、国庫補助事業における優遇

## 1 計画の目的

地域で育まれた多様な歴史や文化を総合的に把握し、市民や関係団体、行政等が協力しながら、文化財の保存や活用をしていくことで、地域の特徴を活かしたまちづくりを進めると共に、歴史や文化の継承につなげることを目的とする。



## 2 計画の位置づけ

**文化財保護法第183条の3**に基づき、市町村の区域における文化財の保存及び活用に関する総合的な計画として作成する。

また、**文化財保護法第183条の3第4項**に基づき、長野市歴史的風致維持向上計画（第2期）との調和を保つものとする。

## 3 計画期間

令和6年度から令和13年度までの8年間

## 4 目指す将来像

### 「長野らしさ」を伝える文化財を活かした歴史文化都市

5つの歴史文化の特性から構成される「長野らしさ」を伝える長野市の文化財は当地の多様な歴史と文化を表し、それを後世へ伝える大切なモノやコトである。

本計画では、この文化財の価値と魅力が多くの人に共有され、大切に使用しながら将来に継承されることで、長野市が市民にも来訪者にも魅力のある歴史文化都市となることを目指す。

#### 長野市の歴史文化の特性

歴史文化の  
特性1

大地の激動がもたらした恵みと災い

歴史文化の  
特性4

政治経済の中心「長野」

歴史文化の  
特性2

人々が交わる地「長野」

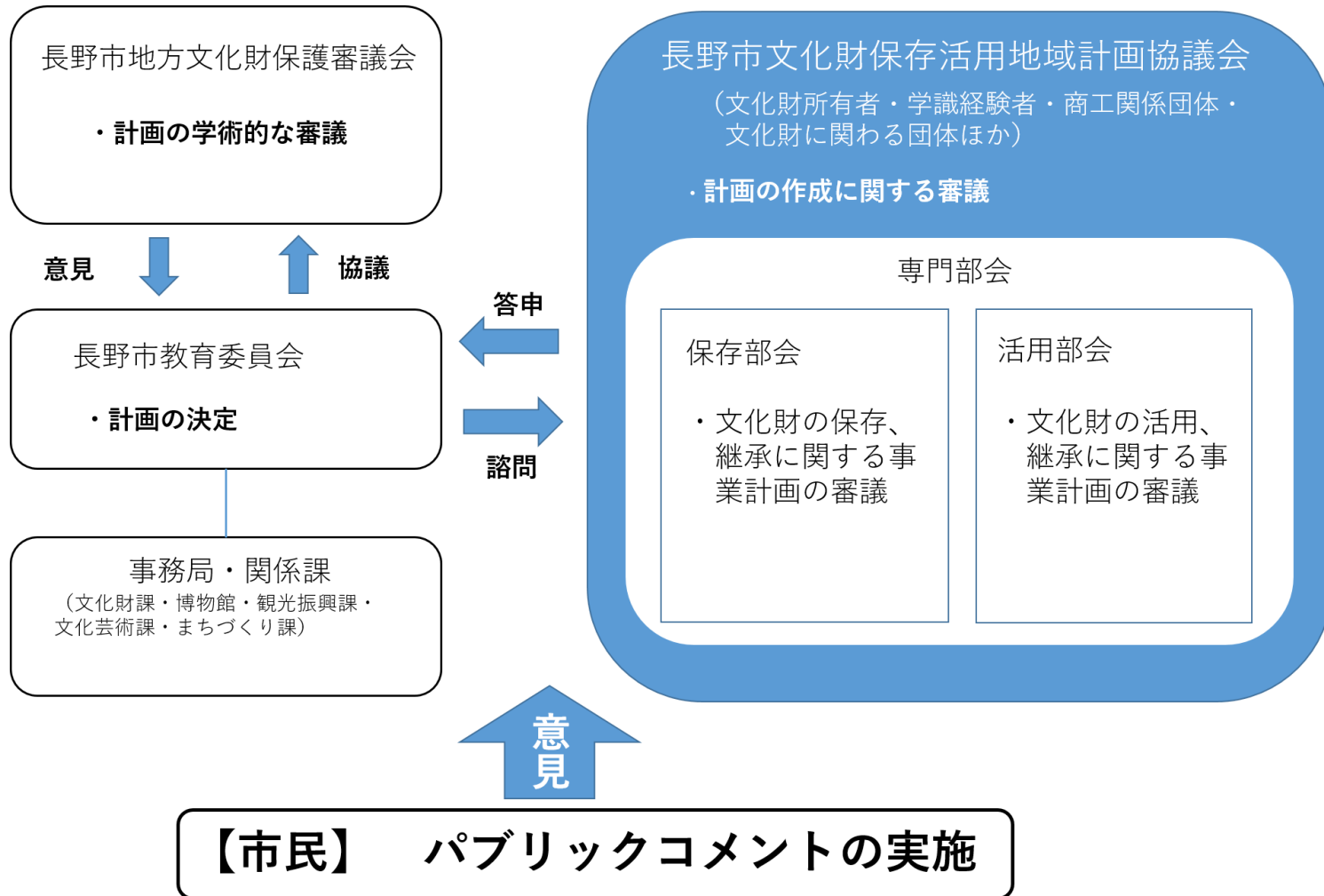
歴史文化の  
特性5

「長野」に生きる人々の暮らしと文化

歴史文化の  
特性3

信仰が息づくまち「長野」

## 5 計画の作成体制



## 1 指定等文化財

国指定・選択・登録等文化財…190件  
県指定文化財…………… 58件  
市指定・選択等文化財……………300件

548件



国宝 善光寺本堂

## 2 未指定の文化財 …… 4,087件

(※長野市域に関わる文献2,024件から拾い上げた未指定文化財数)

### 【内訳】

建造物 (687件) / 絵画 (69件) / 彫刻 (516件) / 工芸品 (12件) / 書跡 (14件)

典籍 (5件) / 古文書 (1,877件) / 歴史資料 (129件) / 考古資料 (20件)

無形文化財 (1件) / 有形の民俗文化財 (25件) / 無形の民俗文化財 (609件)

遺跡 (74件) / 名勝地 (10件) / 植物 (32件) / 動物 (1件) / 地質鉱物 (6件)

## 基本方針1 文化財を掘り起こす(調査)

地域で守り伝えてられてきた多様な文化財を、市民と共に掘り起こし、価値づけをすることで、魅力ある長野の歴史文化の特徴を、広く共有していく。



仏教美術調査

## 基本方針2 掘り起こした文化財を保存する(保存)

経年劣化や災害等による文化財の滅失・損傷を防ぎ、確実に保存していくため、日常の維持管理と計画的な修理を行う。



真田信之霊屋保存修理

## 基本方針3 歴史文化の魅力を伝え活用する(活用)

市内の多様な文化財の魅力を市民や来訪者(観光客等)の誰もが知ることができ、その本質的価値を理解し、日常的に活用していくことで、文化財の保存と活用の好循環を生み出していく。



松代城跡ライトアップ

## 基本方針4 文化財が継承される仕組みを作る(継承)

社会環境の変化による文化財の担い手不足や、保存に関わる専門人材の不足、保存に必要な資金・資材の不足に対して、市民・行政・民間団体等が一体となって次世代に継承していく仕組みを構築する。



伝統芸能訪問公演

## 基本方針

文化財を掘り起こす

掘り起こした文化財を保存する

歴史文化の魅力を伝え活用する

文化財が継承される仕組みを作る

## 方針

1-1 文化財を総合的に把握する

1-2 文化財を研究し価値づける

2-1 文化財を適切に維持管理する

2-2 文化財を適切に修理する

2-3 災害や盗難等に備える

3-1 文化財を学ぶ機会を充実させる

3-2 文化財についての情報発信の充実

3-3 持続可能な文化観光を推進する

3-4 文化財を活かした歴史まちづくりを推進する

3-5 文化施設の持続可能な活用マネジメント

4-1 文化財の担い手育成

4-2 文化財の継承に必要な資金・資材調達の仕組みを作る

4-3 文化財の継承に必要な専門人材との連携を強化する

## 措置

市内仏教美術調査・近世社寺の調査 ほか6つの措置

博物館・宝物館等での展示研究事業・関連資料の収集、整理、目録化事業 ほか6つの措置

文化財パトロール・郷土史研究者との連携 ほか5つの措置

指定等文化財修理補助事業・国登録文化財への支援の検討 ほか5つの措置

文化財防災訓練の実施・災害時文化財レスキュー体制の構築 ほか5つの措置

学芸員出前講座・教員と連携した文化財に関する教材開発 ほか4つの措置

文化財総合ポータルサイトコンテンツ整備事業・地域計画の周知、計画の進捗状況の発信 ほか5つの措置

文化財を活用した体験型観光コンテンツの開発支援・民間の文化財活用活動支援 ほか5つの措置

文化財を核にしたまちづくりの推進・伝統環境保存事業 ほか4つの措置

真田宝物館建て替えの検討 ほか2つの措置

伝統芸能の発表機会の提供・文化財の担い手についての把握調査 ほか4つの措置

文化財修理に必要な原材料の確保支援 ほか2つの措置

文化財の保存活用に関わる団体との連携強化 ほか1つの措置

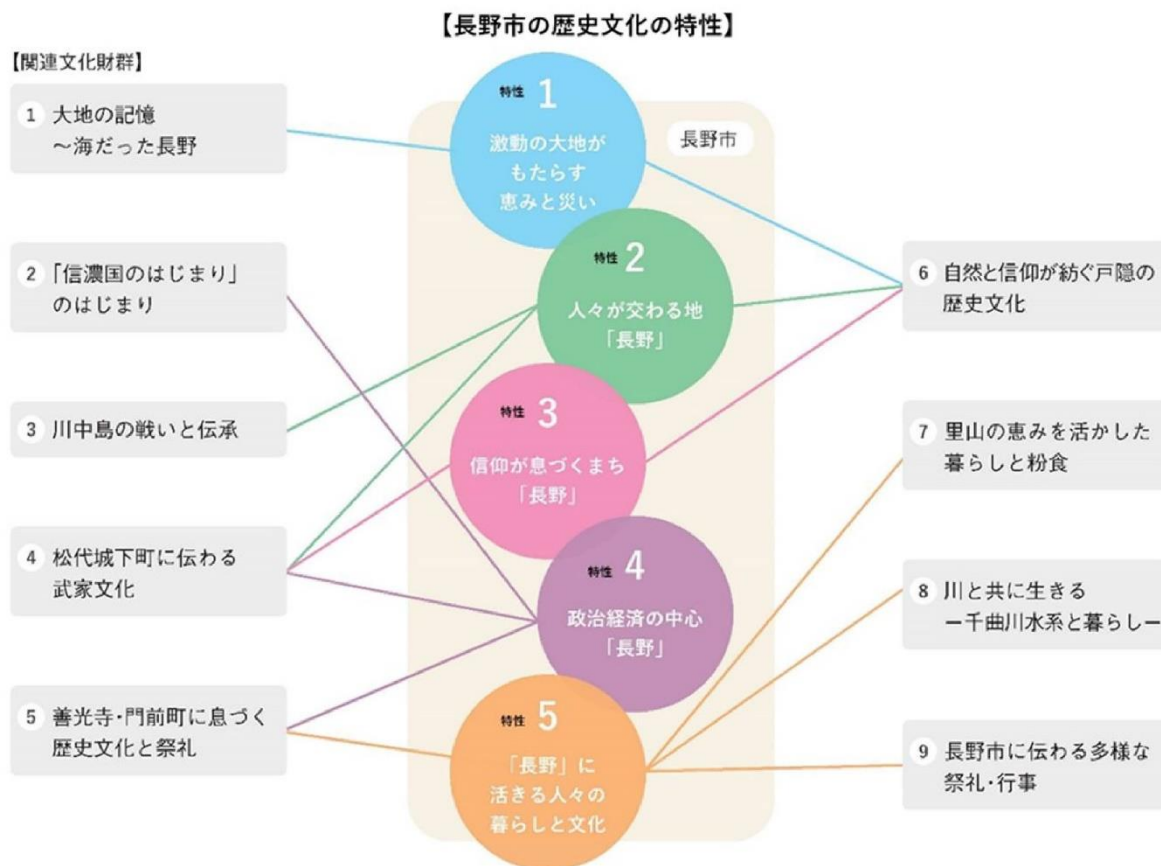


1 市内仏教美術調査	19 国史跡大室古墳群の保存整備事業
2 近世社寺の調査	20 国史跡松代城跡の保存整備事業
3 埋蔵文化財分布調査	21 指定等文化財修理補助事業
4 戸隠竹細工調査	22 国登録文化財への支援の検討
5 文化財総合データベースの充実	23 文化財の記録保存調査
6 来訪者アンケート	24 無形文化財、無形の民俗文化財の映像記録化及び公開
7 文化活動団体把握アンケート	25 埋蔵文化財緊急発掘調査
8 文化財所有者意識調査	26 地域の文化財防災マニュアル作成
9 博物館、宝物館等での展示研究事業	27 文化財防災訓練の実施
10 関連資料の収集、整理、目録化事業	28 善光寺の防災設備整備
11 ながの祇園祭祭礼調査	29 旧横田家住宅の防災施設整備
12 文化財所有者管理者研修会	30 戸隠伝統的建造物群保存地区の防災対策
13 文化財パトロール	31 被災文化財保全活動の支援
14 保存活用計画作成	32 災害時文化財レスキュー体制の構築
15 真田宝物館施設整備	33 学芸員出前講座
16 博物館再編に向けての検討	34 出張展示
17 各団体をまとめる窓口設置の検討	35 小中学校教育との連携推進事業
18 郷土史研究者等との連携	36 教員と連携した文化財に関する教材開発

37 地域と教員の連携支援	55 伝統環境保存事業
38 博物館等文化施設のボランティア、友の会活動	56 景観重要建造物修理助成事業
39 文化財保護行政に寄与する団体に対する支援	57 歴史的風致形成建造物修理助成事業
40 文化財総合ポータルサイトコンテンツ整備事業	58 無電柱化、道路美装化による歴史的景観整備
41 地域計画の周知、計画の進捗状況の発信	59 真田宝物館建て替えの検討
42 説明板等の設置、改修	60 戸隠地質化石博物館とそば博物館との連携
43 博物館等での文化財調査結果の展示	61 博物館再編事業
44 多言語解説拡充整備	62 団体の活動や用具の修理等に関する補助の支援
45 展示図録等の刊行	63 伝統芸能発表の機会の提供
46 地域の文化活動団体刊行物把握	64 伝統工芸継承支援
47 文化財ガイド人材の育成及び、プロガイド養成の検討	65 文化財の担い手についての把握調査
48 文化財を活用した体験型観光コンテンツの開発支援	66 文化財の担い手となる市民、団体の育成
49 市内文化財周遊促進のための観光ルートやガイドマップ作成支援	67 文化財に携わる職人の活動支援の検討
50 鬼無里観光協会と連携した鬼無里地区の周遊促進	68 ふるさと納税等寄付金による資金調達
51 歴史文化や景観、伝統工芸の保存に寄与する活動の観光コンテンツ化	69 文化財修理に関わる技術者の把握と連携
52 民間の文化財活用活動支援	70 文化財修理に必要な原材料の確保支援
53 地域団体等と連携した文化財を軸としたまちづくり	71 文化財の保存活用に関わる団体との連携強化
54 文化財を核にしたまちづくりの推進	72 歴史的建築物の活用ノウハウを有した企業との連携

地域の多種多様な文化財を歴史文化の特性に基づいて一定のまとまりとしてとらえたものが関連文化財群であり、本計画では長野市の5つの歴史文化の特性から、9つの関連文化財群を設定した。文化財群として保存・活用の取組を行うことで、長野市の歴史文化に対する理解促進や地域ごとの魅力向上が期待される。

【歴史文化の特性と関連文化財群の相関図】



## 1 大地の記憶～海だった長野

現在の長野市の地形を作った激しい地殻変動の痕跡、それらがもたらす資源からなる文化財群

【主な構成文化財】  
ダイカイギュウ化石、油井、  
裾花凝灰岩、枕状溶岩など



## 2 「信濃国のはじまり」のはじまり

善光寺平一帯に残る弥生時代～古墳時代の人々の生活の様子を伝える遺跡、考古資料群

【主な構成文化財】  
篠ノ井遺跡群出土品、  
川柳将軍塚古墳、  
大室古墳群など



## 3 川中島の戦いと伝承

川中島合戦に関わる遺跡や後世に生み出され現在まで伝わる伝承からなる文化財群

【主な構成文化財】  
武田晴信願状、  
勘助宮、加賀井温泉、  
葛山城跡鞍骨城跡  
など



## 4 松代城下町に伝わる武家文化

江戸時代、松代藩の城下町として栄えた松代町に伝わる建造物、遺跡、風俗習慣といった文化財群

【主な構成文化財】  
松代城跡、真田家文書、  
松代焼、松代雅楽、  
佐久間象山宅跡など



## 5 善光寺・門前町に息づく歴史文化と祭礼

善光寺門前町の歴史と賑わいを伝える建造物群や祭礼行事からなる文化財群

【主な構成文化財】  
善光寺本堂、堂童子行事  
門前町の歴史的建造物  
豊刺しなど



善光寺祭礼絵巻

## 6 自然と信仰が紡ぐ戸隠の歴史文化

山岳信仰とともにつくられてきた戸隠の歴史文化を伝える建造物、祭礼、食文化からなる文化財群

【主な構成文化財】  
戸隠神社信仰遺跡、奈良尾弘法遺跡  
宣澄踊り、式年大祭、奥社社叢  
蕎麦、竹細工など



戸隠そばとそば笊

## 7 里山の恵みを活かした暮らしと粉食

里山の暮らしおよび食文化を伝える生産道具や祭礼行事からなる文化財群

【主な構成文化財】  
麻・畳糸作り道具、粉食、  
鬼無里の屋台・神楽、  
紙店資料など



西山地域のオヤキ

## 8 川と共に生きる－千曲川水系と暮らし－

千曲川水系がもたらす恵みと脅威を受けてきた人びとの暮らしを伝える物や伝承からなる文化財群

【主な構成文化財】  
千曲川流域の漁具、果樹栽培関係資料、  
千曲川流域の治水土木遺産など



長野盆地を流れる千曲川

## 9 長野市に伝わる多様な祭礼・行事

市域の暮らしが多様なように、暮らしの節目節目で行われる民俗行事や祭りも多様である。そのなかで長野市を特徴づける獅子舞、煙火、御柱祭、そして道祖神と関わって行われる小正月行事に注目してまとめた文化財群

【主な構成文化財】  
芦ノ尻の道祖神祭り、長谷及び越のドンドヤキ、サイノカミの勸進、獅子神楽、犀川神社の杜煙火、御柱祭行列囃大絵馬など



犀川神社の杜煙火

長野市	教育委員会事務局文化財課 【役 割】計画に関する主務、文化財の保存・管理・活用
	教育委員会博物館 【役 割】文化財の調査・研究・収蔵・公開・普及啓発
	文化スポーツ振興部文化芸術課 【役 割】伝統芸能の継承支援
	商工観光部観光振興課 【役 割】文化財を活用した観光振興
	都市整備部まちづくり課 【役 割】歴史的風致維持向上計画との連携・調整
	地域計画ワーキンググループ(文化財課・博物館・観光振興課・文化芸術課・まちづくり課) 【役 割】各事業の進捗管理、内部評価
協議会	長野市文化財保存活用地域計画協議会(文化財所有者・学識経験者・商工関係団体・文化財に関わる団体等) 【役 割】地域計画の進捗管理・評価、計画の見直しの検討等
地方文化財保護審議会	長野市地方文化財審議会(文化財に関し豊かな知識・経験のある学識経験者) 【役 割】文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議
関係行政機関	国立文化財機構文化財防災センター 【連携部分】災害時の文化財のレスキュー、地域防災体制の構築
	長野県教育委員会文化財・生涯学習課 【連携部分】長野県文化財保存活用大綱との調整
その他民間団体等	長野市文化財保護協会 【連携部分】文化財パトロールによる現状把握
	公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー 【連携部分】文化財を活用した観光コンテンツの開発・情報発信
	公益社団法人長野県建築士会 【連携部分】文化財(建造物)の調査、災害時の文化財(建造物)のレスキュー、記録保存
	長野県文化財レスキューネット 【連携部分】災害時の被災資料(文化財)のレスキュー及び保全
	長野郷土史研究会ほか市内各地の郷土史研究団体 【連携部分】文化財の把握調査・現状把握

## ▶募集期間

令和5年11月21日(火)から12月20日(水)まで(必着)

## ▶募集方法

市ホームページ掲載、広報ながの12月号掲載、  
窓口閲覧(文化財課、行政資料コーナー、支所)

## ▶提出方法

書面(持参、郵送)、電子メール、ファックス、ながの電子申請サービス

## ▶意見等の公表

提出された意見等に対する検討結果をホームページで公表

## ▶問い合わせ先

文化財課 電話 026-224-7013

		会議等	内容
令和5年度	11/13	部長会議	計画(案)パブコメ実施協議
	11/20	市議会政策説明会	
	11/22	記者会見	
	11月～12月	計画(案)に係るパブリックコメント実施(11/21～12/20)	
	1月	地域計画協議会	答申
令和6年度	2月	教育委員会／部長会議	計画(案)決定
	2月	市議会政策説明会	計画(案)報告
	3月	国(文化庁)へ提出	
	7月	計画の認定(文化庁)	計画確定